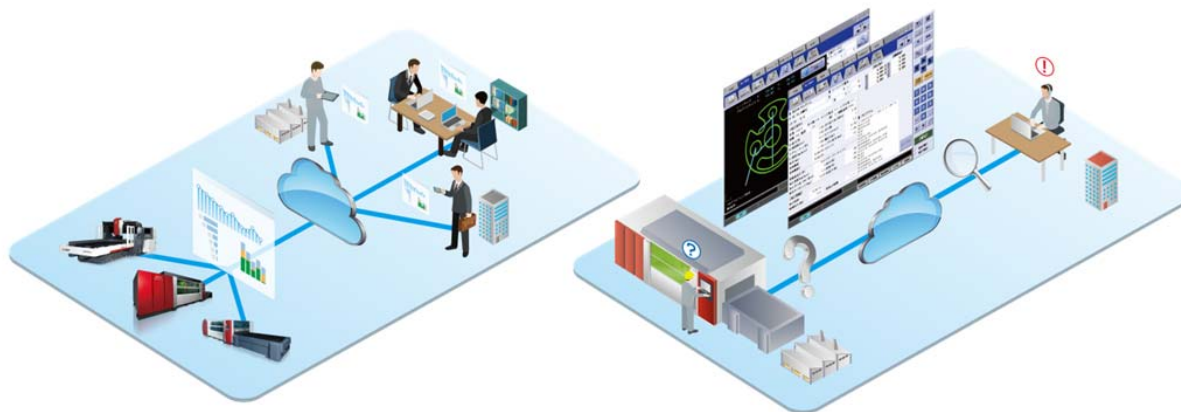


2016 年 3 月 7 日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

e-F@ctory によるレーザー加工機の生産性・保全性を支援するリモートサービス IoT を活用したレーザー加工機の新サービス「iQ Care Remote4U」開始

三菱電機株式会社は、IoT（Internet of Things）を活用して、板金加工向けレーザー加工機の様々な情報を収集・蓄積し、遠隔地からリアルタイムで確認・診断する新サービス「iQ Care Remote4U（アイキューケアリモートフォーユー）」を 4 月 1 日に提供開始します。



ダッシュボード機能

リモート診断機能

「iQ Care Remote4U」イメージ

新サービス開始の背景と狙い

当社は、2003 年から次世代のものづくりを実現する FA 統合ソリューション「e-F@ctory（イーファクトリー）」※1 の提供を推進しています。

今回、板金加工向けレーザー加工機において、e-F@ctory Alliance（イーファクトリーアライアンス）パートナー※2 である日本電気株式会社（以下 NEC）の IoT 技術を活用した新サービス「iQ Care Remote4U」を提供開始します。これにより、レーザー加工機の実稼働率向上・ランニングコスト低減などに貢献するとともに、遠隔診断による保守サービスの向上を実現します。

※1 FA 技術と IT 技術を活用し開発・生産・保守の全般にわたるトータルコストを削減するソリューション提案

※2 e-F@ctory を提供するため、システムインテグレーション・ソフトウェア・機器の各分野で、豊富な経験と技術を有するパートナー

サービスの特長

1. ダッシュボード機能により、生産プロセスの改善・ランニングコスト低減に貢献

- ・市販のパソコン・スマートフォン・タブレットで、専用ソフトなしにレーザー加工機の実稼働情報・加工予測時間などをリアルタイムで確認
- ・加工・稼働実績や電力・ガス消費量などを NEC の IoT プラットフォームで収集・蓄積し、複数の情報をまとめて表示するとともに、汎用の表計算ソフトに出力することで、生産プロセスの改善・ランニングコスト低減に貢献

2. リモート診断機能により、保全性を向上

- ・通信の安全性が高い NEC のソフトウェア VPN サービスを活用
- ・当社のサービスセンターに設置した端末から直接お客様のレーザー加工機の状態を遠隔診断して予防保全情報を提供し、故障時にも当社のスタッフから迅速な対応が可能
- ・当社サービスセンターから、ソフトウェアのバージョンアップや加工条件変更などを実施可能

今後の展開

今回のレーザー加工機向けの本サービスに加え、2016 年度中に放電加工機向けのサービスも開始します。

なお、当社は名古屋製作所（愛知県名古屋市）の近隣の大幸地区に建設中の新棟（2016 年 10 月竣工予定）を、リモートサービスの中核拠点としていきます。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 産業メカトロニクス事業部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
TEL 03-3218-6560 FAX 03-3218-6822